

平成27年3月8日

No.129

(職場)

職場は、何をやる場所か。給料を頂く為に自分を犠牲にする。生活の為に。学校を卒業して入る場所。良い商品、サービスをつくり提供する場所。将来の為に研究・開発する場所。人間関係を築く場所。社会に役立てる場所。色々な知識を学ぶ場所。意味を学ぶ場所。お客様に喜んでもらう場所。仕事を覚える場所。お客様に情報・知識を提供する場所。成長する場所。毎日同じことの繰り返しかもしれないけれど、1日1時間居る場所です。付内のある洋品店が閉店する話も聞きました。正社員は、他の地域の同店へ移動、アルバイトは解雇だそうです。ケレ前のセゾン内の店舗入替えがあったと思います。イトーヨーカドーも閉店しました。閉店には様々な理由もあり、仕方ないところかもしれません。大きな組織ほど閉店、閉店の頻繁に行われています。企業が生きていく為には、必要なところかもしれません。職場は、社員に色々な事を学ぶ成長する場所お客様に喜んで貰える場所であり、また、企業戦略としては、入替えも必要であるが、人を育てる場としての職場には、何か寂しい気がします。我々の様な中小零細企業は、閉店も全てをやめる時ですので、簡単に閉店はありません。社員も、解雇もありません。だから、小さい会社ほど、人を育てる場としての職場にたれると思います。職場は働いて給料を頂くだけの場ではありません。自己も成長させる場所です。良いサービス・商品・技術・知識を開発・提供する事で成長でき、多くのお客様に会う事で成長できます。技術・知識・コミュニケーション能力・生活力・感謝力、人間として成長します。小さい会社だから、人何役色んなことやります。だから、中小零細企業は、経営者、社員みんな一緒に人を育てる場としての職場のあり方を考える必要があると思います。社員一人ひとりの成長のスピード、仕事のスピードも違いますが、人を育てる場としての職場、何をやるべきか考えていきたいと思います。

高林幸祐